

平成25年度文化庁文化遺産を 活かした地域活性化事業 伝統文化お手玉教室



「脳活・笑活 健康に導くお手玉」のテーマで 「日本のお手玉の会会長」宮中雲子さんを招き八王子支部で講演会

八王子支部では、初めての試みとしてお手玉の講演会を、9月29日(日)に、八王子市の八王子労働会館で開催しました。講師には、日本のお手玉の会の宮中雲子会長をお招きして、「脳活・笑活 健康に導くお手玉」のテーマでお話をいただきました。

この講演会には、八王子市市民や会員だけでなく近郊から、また、長野県松本市や東京から日本のお手玉の会の会員の方々など、68地域から2000人の参加がありました。

まず、八王子お手玉の会の会員による演舞で始まりました。つづいて、東京杉並区、北海道、八王子に伝わる「おさらい」(寄席玉遊び)の歌と仕草を紹介しました。また、八王子の子どもたちが日ごろ練習してきたお手玉の技を披露しましたが、その見事さに会場から、「お〜!」という歓声が上がりました。

宮中会長の講演では、「歌いながらのお手玉で、心も体もさらに元気に...」との優しいお話には、

和やかな雰囲気にも包まれ、最後まで、明るい笑い声が絶えませんでした。

つづいて、東京お手玉の会の級位認定表に基づいてのお手玉遊びの実技の紹介がありました。参加者全員に2個のお手玉を配り、キーボードの演奏にのせて、宮中会長が歌を歌いながらの、ユーモアに富んだお手玉遊びのご指導は、ゆりあげても、落としても笑いが絶えませんでした。



最後は、東京お手玉の会のみなさんによる演舞や遊びがあり、大いに盛り上がりがありました。

参加者のアンケートにも、「お手玉がこんなに楽しいものとは思わなかった」「よい汗をかいた」「優しい気持ちになれた」「伝承遊びとして残したい」「介護現場にぜひ取り入れたい」など、多くの喜びの声が寄せられました。

また、会員に対する励ましの声もいただきました。宮中会長、東京支部のみなさんありがとうございました。

【八王子お手玉の会】 田邊和子